

●関西生コン支部国家賠償請求裁判

## 東京地裁判決 国家が不当労働行為と不當弾圧を公認した

十月三十一日、東京地裁は六月二十六日の公判では検事による取調べの録画映像が上映され、検事が「連帯削除の申立てを全面棄却する不当判決を出した。



不當判決に控訴して闘う

### ●全労協脱原発全国交流会 原発労働者の命と健康を守ろう

十月二十四日午後六時三十分から全労協事務所をサテライト会場としてZOOMで「全労協脱原発全国交流会」を行った。参加者は、関西、静岡、東京、いわきの脱原発運動を行っているメンバーだ。この方は一号機の原子炉建屋を覆う大型カバー設置作業に従事していた。作業後、二時ごろ休憩してから徒歩で

各地の脱原発運動の現状に

間くらいい休憩してから徒歩で

狩さんの死亡事故やあらかぶ

藤村妙子)

る。国を挙げて不当労働行為を公認したのだ。冗談にもほどがある。

不当労働行為とは、使用者が「不当労働行為意思」をもつていることが重要な要件である。

一言からでも、その意

思が確認できれば不当労働行

為が成立する。この検事は

「組合を削る」という言葉を何度も言っていた。組合

をつぶすと繰り返しているの

に、それは正当だったと裁判

所が認めたのである。裁判で

は不当労働行為を認定しない

と宣言したものだ。

●韓国オプティカルハイテック労組を支援する会

## 韓国雇用労働部が国政監査

会委員長 大野 隆)

必ず争議解決への道筋を持つという韓国政府の約束が動きはじめました。十月十五日、雇用労働部の国政監査が行われ、韓国日東オプティカルの李培源社長が証人喚問されました。

この中で、李社長は韓国日イカルハイテックの労働者を採用した前例があつたこと、韓国オプティカルハイテックの火災後に生産移転があり、韓国日東オプティカルが最大の収益を上げたこと、さらに火災後一七八人の新規採用をしたこと、さらに日東電工が韓国で税金の減免や土地の無償貸などの恩恵措置を受けたことなどの事実関係を全て認めました。

これを受けて議員側からは「韓国オプティカルの労働者は生活もおぼつかないまま雇用継承を要求しているが、話し合いも行わず、国会や雇用労働部などの問題提起も無視し続けている」と厳しい批判を受けました。

これに対しても、西小山地区の集合住宅で半地下の部屋に住む人々が水が流れ込み部屋に閉じ込められ死を覚悟した。やがて玄関に水が流れ込み部屋に閉じ込められ死を覚悟した。まわっていた方が、ベランダの窓口を作ること、努力するだけではだめだ」と念を押されました。これだけ深い関係がありながら、形式的な関係があつたといふことは説明できません。今月の三

十日までに経過報告を行い、話し合いの場が作れないのに別法人だからというだけで天井近くまで水が溜まつた。そこで、部屋の物全てが使用できぬなり、服から家財道具まで全てを捨てることになりました。涙ながらに話されていました。戸越銀座商店街では被害を受けた週末に地域の祭りが予定されており、水害による片付けに追われ祭りの開催が危ぶまれていました。そのため町会より「毎年豪雨により、品川区内の約五〇〇世帯に「緊急安全確保」が発令され、住宅の床上・床下浸水が多数発生しました。翌日より区民からの入電・問い合わせ件数は十月三十一日現在で七三五件あり、使用した車両は一四八台、収集量は一六四・七三tに上ります。

災害時の復旧・復興の力

### 東京清掃労働組合品川支部 (集中豪雨と水害ごみ収集)

## 現場を熟知した直営職員が

召喚すると伝えられ、オプティカル支会からは「雇用は李めました。

(韓国オプティカルハイテック労組を支援する会 内田

社長が決断すべきこと、それが本人の協調した日東グループの人権経営であり、社会的正)

九月十一日、記録的な集中豪雨により、品川区内の約五〇〇世帯に「緊急安全確保」が発令され、住宅の床上・床下浸水が多数発生しました。翌日より区民からの入電・問い合わせ件数は十月三十一日現在で七三五件あり、使用した車両は一四八台、収集量は一六四・七三tに上ります。

災害発生の翌日から即時対応

できたのも、品川区では直営

た。清掃事務所では、翌十二日より区民からの災害ごみに

関する相談が相次ぎ、日常の

ごみの回収をお願いしたい」と

と清掃事務所に相談がありました。十二日早朝より商店街

のごみの回収を行い、無事に

祭りを開催することができた

た。そのため町会より「毎年豪雨により、品川区内の約五〇〇世帯に「緊急安全確保」が発令され、住宅の床上・床下浸水が多数発生しました。翌日より区民からの入電・問い合わせ件数は十月三十一日現在で七三五件あり、使用した車両は一四八台、収集量は一六四・七三tに上ります。

災害発生の翌日から即時対応

できたのも、品川区では直営

た。清掃事務所では、翌十二日より区民からの災害ごみに

関する相談が相次ぎ、日常の

ごみの回収をお願いしたい」と

と清掃事務所に相談がありました。十二日早朝より商店街

のごみの回収を行い、無事に

祭りを開催することができた

た。そのため町会より「毎年豪雨により、品川区内の約五〇〇世帯に「緊急安全確保」が発令され、住宅の床上・床下浸水が多数発生しました。翌日より区民からの入電・問い合わせ件数は十月三十一日現在で七三五件あり、使用した車両は一四八台、収集量は一六四・七三tに上ります。

災害発生の翌日から即時対応

できたのも、品川区では直営

た。清掃事務所では、翌十二日より区民からの災害ごみに

関する相談が相次ぎ、日常の

ごみの回収をお願いしたい」と

と清掃事務所に相談がありました。十二日早朝より商店街

のごみの回収を行い、無事に

祭りを開催することができた

た。そのため町会より「毎年豪雨により、品川区内の約五〇〇世帯に「緊急安全確保」が発令され、住宅の床上・床下浸水が多数発生しました。翌日より区民からの入電・問い合わせ件数は十月三十一日現在で七三五件あり、使用した車両は一四八台、収集量は一六四・七三tに上ります。

災害発生の翌日から即時対応

できたのも、品川区では直営

た。清掃事務所では、翌十二日より区民からの災害ごみに

関する相談が相次ぎ、日常の

ごみの回収をお願いしたい」と

と清掃事務所に相談がありました。十二日早朝より商店街

のごみの回収を行い、無事に

祭りを開催することができた

た。そのため町会より「毎年豪雨により、品川区内の約五〇〇世帯に「緊急安全確保」が発令され、住宅の床上・床下浸水が多数発生しました。翌日より区民からの入電・問い合わせ件数は十月三十一日現在で七三五件あり、使用した車両は一四八台、収集量は一六四・七三tに上ります。

災害発生の翌日から即時対応

できたのも、品川区では直営

た。清掃事務所では、翌十二日より区民からの災害ごみに

関する相談が相次ぎ、日常の

ごみの回収をお願いしたい」と

と清掃事務所に相談がありました。十二日早朝より商店街

のごみの回収を行い、無事に

祭りを開催することができた

た。そのため町会より「毎年豪雨により、品川区内の約五〇〇世帯に「緊急安全確保」が発令され、住宅の床上・床下浸水が多数発生しました。翌日より区民からの入電・問い合わせ件数は十月三十一日現在で七三五件あり、使用した車両は一四八台、収集量は一六四・七三tに上ります。

災害発生の翌日から即時対応

できたのも、品川区では直営

た。清掃事務所では、翌十二日より区民からの災害ごみに

関する相談が相次ぎ、日常の

ごみの回収をお願いしたい」と

と清掃事務所に相談がありました。十二日早朝より商店街

のごみの回収を行い、無事に

祭りを開催することができた

た。そのため町会より「毎年豪雨により、品川区内の約五〇〇世帯に「緊急安全確保」が発令され、住宅の床上・床下浸水が多数発生しました。翌日より区民からの入電・問い合わせ件数は十月三十一日現在で七三五件あり、使用した車両は一四八台、収集量は一六四・七三tに上ります。

災害発生の翌日から即時対応

できたのも、品川区では直営

た。清掃事務所では、翌十二日より区民からの災害ごみに

関する相談が相次ぎ、日常の

ごみの回収をお願いしたい」と

と清掃事務所に相談がありました。十二日早朝より商店街

のごみの回収を行い、無事に

祭りを開催することができた

た。そのため町会より「毎年豪雨により、品川区内の約五〇〇世帯に「緊急安全確保」が発令され、住宅の床上・床下浸水が多数発生しました。翌日より区民からの入電・問い合わせ件数は十月三十一日現在で七三五件あり、使用した車両は一四八台、収集量は一六四・七三tに上ります。

災害発生の翌日から即時対応

できたのも、品川区では直営

た。清掃事務所では、翌十二日より区民からの災害ごみに

関する相談が相次ぎ、日常の

ごみの回収をお願いしたい」と

と清掃事務所に相談がありました。十二日早朝より商店街

のごみの回収を行い、無事に

祭りを開催することができた

た。そのため町会より「毎年豪雨により、品川区内の約五〇〇世帯に「緊急安全確保」が発令され、住宅の床上・床下浸水が多数発生しました。翌日より区民からの入電・問い合わせ件数は十月三十一日現在で七三五件あり、使用した車両は一四八台、収集量は一六四・七三tに上ります。

災害発生の翌日から即時対応

できたのも、品川区では直営

た。清掃事務所では、翌十二日より区民からの災害ごみに

関する相談が相次ぎ、日常の

ごみの回収をお願いしたい」と

と清掃事務所に相談がありました。十二日早朝より商店街

のごみの回収を行い、無事に

祭りを開催することができた

た。そのため町会より「毎年豪雨により、品川区内の約五〇〇世帯に「緊急安全確保」が発令され、住宅の床上・床下浸水が多数発生しました。翌日より区民からの入電・問い合わせ件数は十月三十一日現在で七三五件あり、使用した車両は一四八台、収集量は一六四・七三tに上ります。

災害発生の翌日から即時対応

できたのも、品川区では直営

た。清掃事務所では、翌十二日より区民からの災害ごみに

関する相談が相次ぎ、日常の

ごみの回収をお願いしたい」と

と清掃事務所に相談がありました。十二日早朝より商店街

のごみの回収を行い、無事に

祭りを開催することができた

た。そのため町会より「毎年豪雨により、品川区内の約五〇〇世帯に「緊急安全確保」が発令され、住宅の床上・床下浸水が多数